

～ 卒業生の皆さんへ～

2020年3月21日 大阪電気通信大学

学長 大石 利光

卒業生の皆さんの門出を祝う学位授与式の式典を新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の状況を鑑み、本当に残念ですが、健康や安全面を第一に考え断腸の思いで中止といたしました。皆さんの新たな旅立ちに向け本年度の学長告示は文章にて卒業生の皆さんにお渡しさせていただきます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんは、本日をもって、進学あるいは就職と、それぞれ自分自身で選択した新たな道を進まれることとなります。その皆さんの希望に満ちた、門出を祝し、私自身が大切にしている3つの事をお伝えして告示とさせていただきます。

一つ目は、『挨拶と言葉づかい』について

4月から皆さんを取り巻く人間関係は大きく変わってきます。人間関係がうまくいかない仕事にも勉強にも身が入りません。人間関係がうまくいかない要因は往々にして、挨拶と言葉づかいに起因しているように私は思います。『人間関係は鏡である』とも言われます。鏡は先には笑いませんし、挨拶もしないですね。ですから、先ず自分から笑顔で挨拶するように心がけてください。また古来より『布地は染めぐあいで、酒は香で、花は匂いで、人は言葉づかいで判断される』とも言われます。丁寧な言葉づかい、できれば敬語などにも気をつけてみてください。丁寧な言葉づかいをされて、怒る人はいません。言葉使いが丁寧になると、態度も自然に丁寧になってきます。笑顔での挨拶、丁寧な言葉づかいで接すれば、新たな環境になっても円滑な人間関係を作る事ができます。是非実践してみてください。

二つ目は『知識のアップデートをしよう』と言うことです。

今後皆さんが向かっていく社会は、物凄いスピードで大きく変化し続けています。

『変化の時代には、学ぶ者が地上を征し、学ぶことを止めた者は、自分の力を発揮できる世界がもはや存在しないことに気付く』、これはアメリカの社会哲学者エリック・ホッファーの言葉です。先日某番組で、歌手のGACKTさんがこんな話をされていました。『もし、私が、家も車もお金も、スタッフがいなくなったとしても、もう一度やり直せるかといったら、自信を持ってできると答えます。何故かと言ったら、知識と経験があるから、知識は誰にも奪われることのない財産だと思いませんか？そして、人生って知識のアップデートだと思うんですよ』と、学んで、知識をアップデートして、それを経験に変えていけたら、それが自分自身の財産になっていくのです。皆さんには、これからも学び続け、誰にも奪われることの無いこの財産を築いて行って欲しいと思います。

三つ目は、『どんな仕事でも良いから、その仕事の第一人者になれ』と言うことです。

これは、かの有名なアンドリュー・カーネギーが青年のための成功の秘訣として話された言葉です。

今風に言えば コアコンピタンスを持つと言う事ですね。皆さんも、目の前の仕事に最善を尽し、自身のコアコンピタンスを磨き、その仕事の第一人者になる事を目指してください。そうすれば、必ず道は開けます。

最後になりますが、本学も、5万2千人を超える卒業生及び修了生が実社会に巣立ち、多くのみなさんが社会の第一線で活躍されておられます。その先輩方に続いて、大阪電気通信大学の卒業生として、あとに続く、後輩の模範となり、ご活躍される事を期待しています。また、卒業後も、たまには母校をのぞいて、先生方や職員のみなさんに、近況報告と共に成長した姿を見せてあげてください。それが教職員に取ってなによりの喜びであり励みになります。皆さんの洋々たる前途と更なる飛躍をお祈りいたします。

ご卒業、誠におめでとうございます。